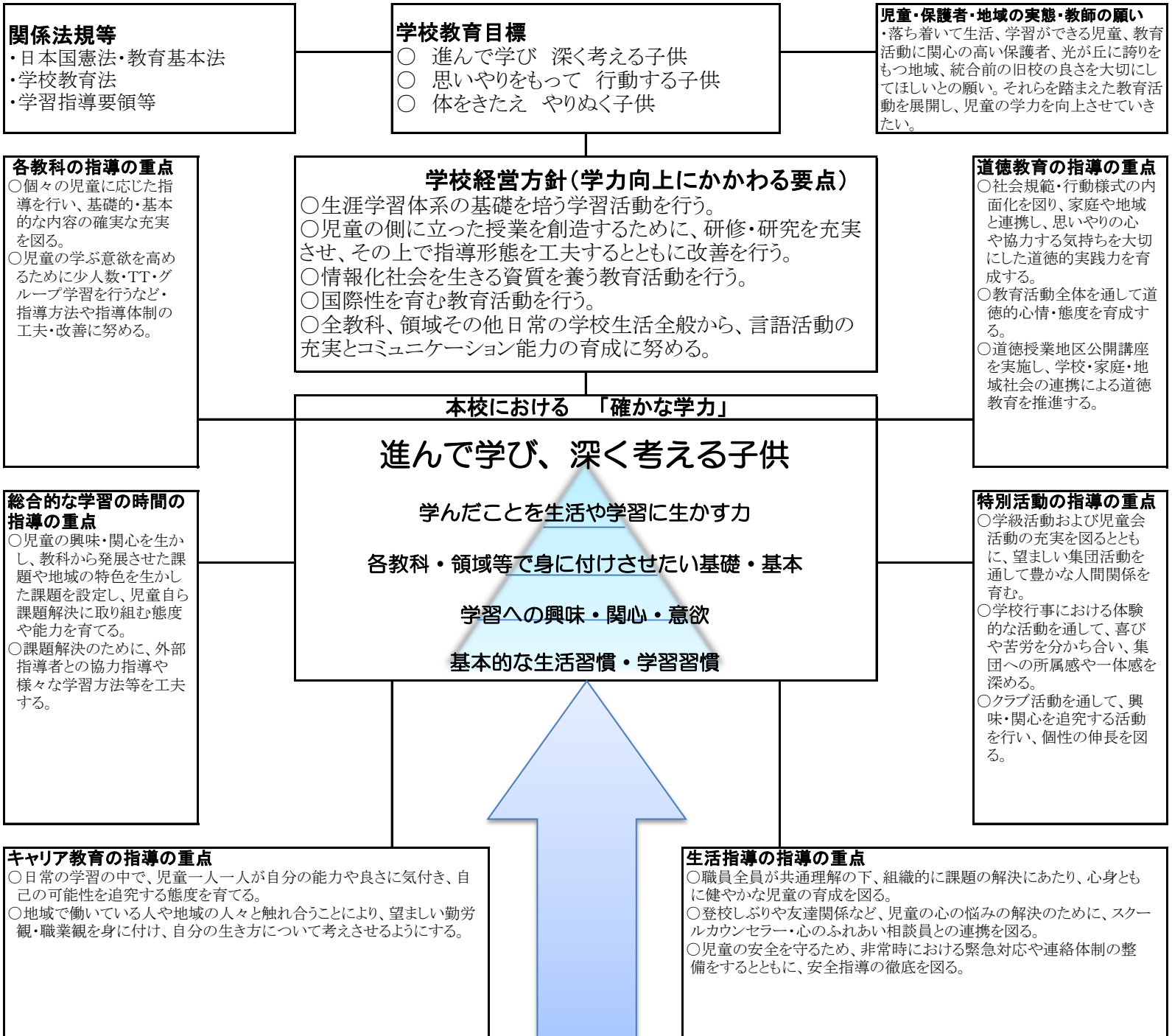


平成28年度 学力向上を図るための全体計画

31練馬区立光が丘夏の雲小学校



本校の授業改善に向けた視点					
指導内容・指導方法の工夫	教育課程編成上の工夫	校内における研究や研修の工夫	評価活動の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫	小中一貫の視点に沿った工夫
<p>○学級担任、習熟度指導加配教員、専科教員、学力向上支援講師等との連携と情報交換を密にして、個に応じたきめ細かい指導を行う。また、習熟度指導やTTを行う際には、事前の打ち合わせと準備を十分に行い指導効果の向上に努める。</p> <p>○児童一人一人の学習状況を的確に把握するために指導記録等を取り、個に応じた適切な支援を行うことによって、達成の喜びを味わわせる工夫をする。</p> <p>○コンピュータリテラシーの指導計画を作成し、学習活動での活用を図るとともに、学校図書館との連携も密にして情報活用に関する教育を充実させる。</p>	<p>○週ごとの指導計画の作成・提出により、学習指導計画の具現化を図り、見直しをもって指導を行うとともに授業時数確保を図る。</p> <p>○朝読書タイムの設定や学年推薦図書を紹介等を行い、読書指導の充実を図る。</p> <p>○新体力テストを実施し、児童の体力を的確に把握するとともに、体力向上に向けての取り組みを行う。</p>	<p>○月1回以上の校内研究会を設定し、研究の指針を明確にして共通認識の下で研究活動が行えるようにする。また、分科会内等の授業も含めて、一人一回は研究授業を行う。</p> <p>○中学校と互いの学校の授業を参観し合うなど、小中一貫の視点をもって、研究を進めていく。</p>	<p>○意図的・計画的な学習活動と評価を行うために、年間学習指導計画・評価計画を作成し、各学級等では児童の実態を踏まえて学級経営計画・教科経営計画を作成する。</p> <p>○児童自らが学習状況を的確に把握し、意欲をもって積極的に学習活動を行うため自己評価活動の充実に努める。</p>	<p>○第2土曜日に授業公開や学校行事の公開を実施する。</p> <p>○学校図書館ボランティア「よむよむ」や公立図書館との連携を図り、読み聞かせやブックトーク、ブックラiser等の活動を推進する。</p> <p>○地域に根ざした学校を目指し、地域の人材や自然・文化を活用した体験的な活動を学年の発達段階に応じて設定し、充実した活動ができるよう創意工夫を加える。</p>	<p>○小中一貫教育実践校として、9年間を見通しコミュニケーション力の育成を系統的に育成することを目指した課題改善カリキュラムを更新し、学習内容を工夫する。</p>